

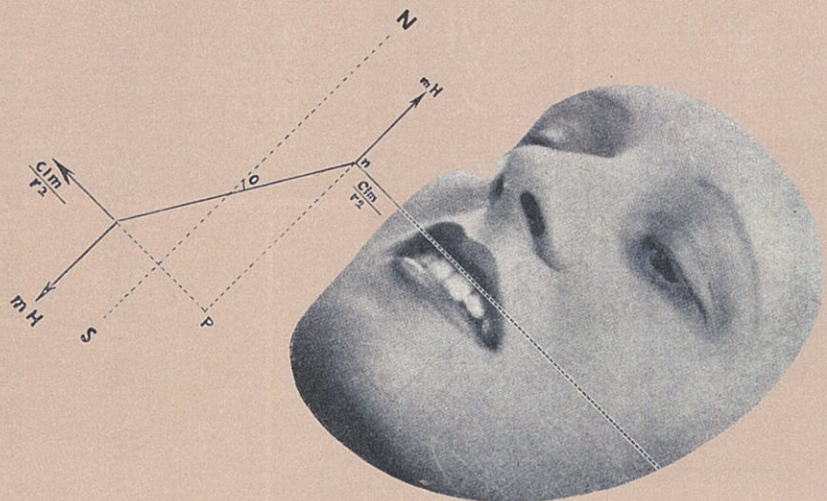
# コレクション・ 都市モダニズム詩誌

全15巻

[監修] 和田博文 東洋大学教授

すべての  
モダニズム文化の発火点が、  
詩雑誌だった。  
代表的都市モダニズムの稀覯詩誌を  
テーマ別に集成。

- 各巻に掲載
- ◆最新書き下ろしエッセイ
- ◆詳細な解題
- ◆各テーマに関する関連年表
- ◆主要参考文献一覧



コレクション・  
**都市モダニズム詩誌**



全巻の構成

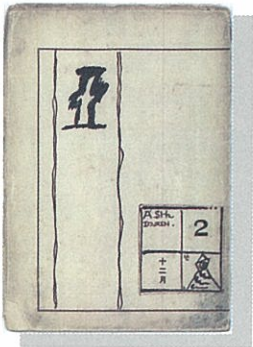
**本書の特色**

- 代表的な都市モダニズムの稀覯詩誌をテーマ別に復刻。
- 欠号が発見されていない雑誌については、現存しているものを可能な限り収録。
- 当時のモダニズム詩人は、文学のみならず写真・美術・映画などの西洋文化の紹介の中心的存在であり、これらの雑誌は、たんなる詩の雑誌ではなく、モダン都市文化の交通の網目の中心に存在するものとしてきわめて重要な役割を果たした。
- 各巻末にエッセイ・関連年表・解題・人名別作品一覧・主要参考文献を付す。

**① 短詩運動** 小泉京美編

安西冬衛、北川冬彦を中心に、大連において創刊された『亜』は、短詩運動や詩の展覧会など斬新な言語実験を行い、大正末期から昭和初期にかけてのモダニズム詩誌の先駆をなした。

- ◆ 『亜』 1号～35号 (二九四・二～二九七・三)
- ◆ 短詩運動・関係文献
- ◎ エッセイ「短詩運動」
- ◇ 関連年表 ◇ 解題 ◇ 人名別作品一覧 ◇ 主要参考文献



**② アナーキズム** 竹内栄美子編

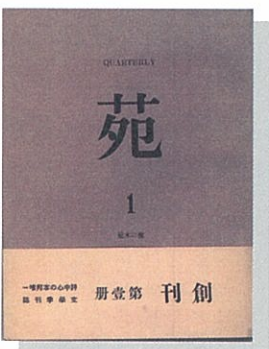
マルクス主義文学と袂を分ち、独自の道を歩み始めた萩原恭次郎、岡本潤、

**③ 主知的抒情詩の系譜Ⅱ・昭和の象徴主義Ⅰ**

国生雅子編

『椎の木』の流れを汲む伊藤整の『信天翁』と百田宗治の『苑』、そして多くの外国文学者の協力を得た吉田一穂らの『新詩論』は、脈々と続く抒情詩の歴史に新時代の風を吹き込んだ。

- ◆ 『信天翁』 1号～5号 (二九八・一～二九八・六)
- ◆ 『苑』 (季刊) 1冊～3冊 (二九四・一～二九四・七)
- ◆ 『新詩論』 1輯 (二九三・一〇)
- ◎ エッセイ「一九三〇年代の主知的抒情詩の系譜」
- ◇ 関連年表 ◇ 解題 ◇ 人名別作品一覧 ◇ 主要参考文献



**④ 昭和の象徴主義Ⅱ** 木股知史編

草野心平らアナキスト詩人たちは、『太平洋詩人』、『バリケード』に拠り、独自の発信を行っていく。

◆『太平洋詩人』 1巻1号〜2巻4号

(一九三五〜一九七四)

◆『バリケード』

1巻1号〜1巻3号 (一九七〇・九〜一九七二)

◎エッセイ「アナキズム」

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧 ◇主要参考文献

### ③ シュールレアリスム 鶴岡善久編

上田敏雄・保の『文芸耽美』、山中散生の『シネ』、モダンを謳う『FANTASIA』、エロルド東京美術協会の『Ecole de Tokio』、名古屋刊行の『夜の噴水』は、シュールレアリスムという20世紀最大の芸術思潮に対する日本からの返答である。

◆『文芸耽美』 2巻4号、2年7月、8月、11月号 (一九七二〜一九七三)

◆『シネ』

1号・3号〜6号 (一九七二〜一九七六)

◆『FANTASIA』

1輯〜3輯 (一九六六〜一九七〇・六)

◆『Ecole de Tokio』

1号〜2号 (一九六六・九〜一九七〇・一)

◆『夜の噴水』

1号〜4号 (一九六八・二〜一九七二・一〇)

◎エッセイ「シュールレアリスム」

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧 ◇主要参考文献

### ④ ダダイズム 佐藤健一編

ドン・ザッキー(都崎友雄)の『世界詩人』、吉行エイスケの『売恥醜文』、マヴォイストが参加した『ヒドロパス』、評論活動中心の『論戦』、東洋大学詩人協会の『白山詩人』、大阪発の『ドド宣言』は、破壊と否定のダダ旋風を巻き起こした。

◆『世界詩人』 1号〜3号 (一九五八〜一九六二)

◆『売恥醜文』 4号・5号

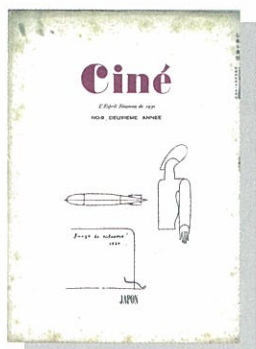
(一九四四(泉明)〜一九四八)

◆『ヒドロパス』 1号 (一九五八)

◆『論戦』 1巻1号〜1巻3号

(一九五五〜一九五八)

◆『白山詩人』 1号・3号、2巻3号 (一九六七〜一九七五)



第二輯以降、吉田一穂の単独編輯となった『新詩論』は、山内義雄ら西洋文学研究者と共にボー、マラルメの特集を組み、研究と実作の両面から新しい象徴主義の可能性を提示した。

◆『新詩論』 2輯〜3輯 (一九三二〜一九三三・一〇)

◆昭和の象徴主義・関係文献

◎エッセイ「昭和の象徴主義」

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧 ◇主要参考文献

### ⑩ レスプリ・ヌーボの展開 杉浦静編

ともに『LESPIRIT NOUVEAU』を誌名に掲げ、紀伊國屋書店とボン書店から刊行された二誌。生粋のモダニスト北園克衛と深い関わりのある両誌は、まさに新精神の体現者と言えよう。

◆『LESPIRIT NOUVEAU』(紀伊國屋書店)

1年1号〜2年3号 (一九三〇・七〜一九三二・一)

◆『LESPIRIT NOUVEAU』(ボン書店)

1号〜3号 (一九四二〜一九四五)

◆レスプリ・ヌーボの展開・関係文献

◎エッセイ「レスプリ・ヌーボの展開」

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧 ◇主要参考文献

### ⑪ 都市モダニズム詩の大河 I 勝原晴希編

春山行夫によって創刊された『詩法』は、『詩と詩論』、『文学』のエスプリ・ヌーボの精神を継承し、20世紀欧米文学の紹介、撰取を行ないながら、行動主義や浪漫主義など新しい文学的課題にも果敢に挑戦した。

◆『詩法』 1号〜6号 (一九四八・八〜一九五二・一)

◆都市モダニズム詩の大河・関係文献

◎エッセイ「都市モダニズム詩の大河 I」

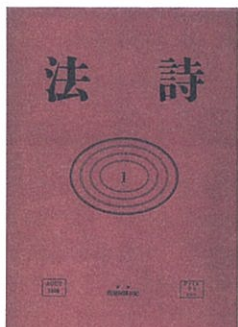
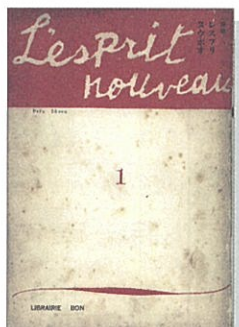
『詩と詩論』から『詩法』へ

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧 ◇主要参考文献

### ⑫ 都市モダニズム詩の大河 II 阿毛久芳編

春山行夫、近藤東らモダニズム文学のスターを中核に据えながら、新人の発掘にも積極的な姿勢を見せた『詩法』からは、後に『新領土』で活躍する永田助太郎ら多くの若手詩人が巣立っていった。

◆『詩法』 7号〜13号 (一九五二〜一九五九)



◆『白山詩人』(第二次) 昭和3年6月号・7月号・11月号  
昭和4年3月号(一九二六・二九・三)

◆『マダムブランシェ』マダム・パンフレットNo.1(一九二二)

◆ダダイズム・関係文献

◎エッセイ「ダダイズム」

◆関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧 ◇主要参考文献

## 5 新散文詩運動 藤本寿彦編

現実遊離の傾向を強めた『詩と詩論』から離脱した北川冬彦は、社会性を重視する新散文詩運動を展開。その拠点となった『時間』には、マルクス主義へと接近して行く北川の足跡が刻印されている。

◆『時間』1号~12号(一九二〇・四~一九二二・六)

◆新散文詩運動・関係文献

◎エッセイ「新散文詩運動」

◆関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧

◆主要参考文献

## 6 新即物主義 和田博文編

『旗魚』、『新即物性文学』には、徐々に新即物主義に対する理解を深めていく村野四郎の姿が映し出されている。マシン・エイジの詩学の到達点を示す『体操詩集』の原点がここにある。

◆『旗魚』1号~15号(一九二五・三~一九二五・四)

◆『新即物性文学』1号(一九二二・二)

◆新即物主義・関係文献

◎エッセイ「新即物主義」

◆関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧

◆主要参考文献

## 7 主知的抒情詩の系譜 I 大塚常樹編

百田宗治の主催する『権の木』は、伊藤整、丸山薫、三好達治ら若きモダニストを輩出し、新詩運動の温床となった。伊藤ら主知的抒情詩人の交友圏を形成した同誌が、昭和詩の展開に果たした役割は大きい。

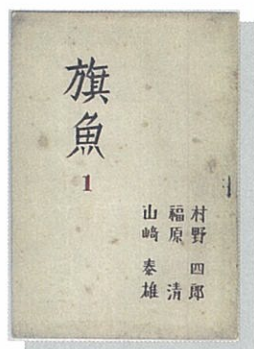
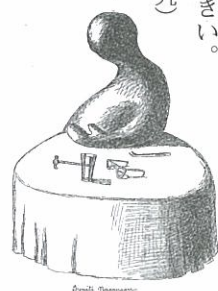
◆『権の木』(第一次) 1号~12号(一九二六・一〇~一九二七・六)

◆主知的抒情詩の系譜・関係文献

◎エッセイ「一九二〇年代の主知的抒情詩の系譜」

◆関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧

◆主要参考文献



◆都市モダニズム詩の大河・関係文献

◎エッセイ「都市モダニズム詩の大河 II」

◆『詩法から「新領土」へ』

◆関連年表

◆解題 ◇人名別作品一覧

◆主要参考文献

## 13 アルクイユクラブの構想 宮崎真素美編

『MADAME BLANCHE』は、領域横断的な芸術家集団というコンセプトに基づき、北園克衛によって結成されたアルクイユクラブの機関誌。モダニズム文学に触発された若手詩人を糾合しつつ、文学と他の芸術ジャンルとの交通を図る。

◆『MADAME BLANCHE』1号~17号(一九二二・五~一九二四・八)

◆アルクイユクラブの機関誌・関係文献

◎エッセイ「アルクイユクラブの構想」

◆関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧 ◇主要参考文献

## 14 VOUCクラブの実験 西村将洋編

北園克衛は、アルクイユクラブを発展解消し、新たにVOUCクラブを結成。その機関誌として『VOUC』を創刊した。表現領域の越境を一貫して追い求めてきた北園の試みが、ここに結実する。

◆『VOUC』1号~20号(一九二七・五~一九二七・一〇)

◎エッセイ「VOUCクラブの実験」

◆関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧

◆主要参考文献

## 15 VOUCクラブと十五年戦争 澤正宏編

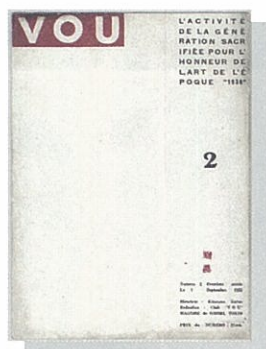
詩の実験に徹してきた『VOUC』にも戦争の暗い影がさし始めた。『新技術』と改称後は、戦争詩や翼賛詩が誌面に登場することは無いものの、日本語の美化、郷土詩の確立を志向するようになる。

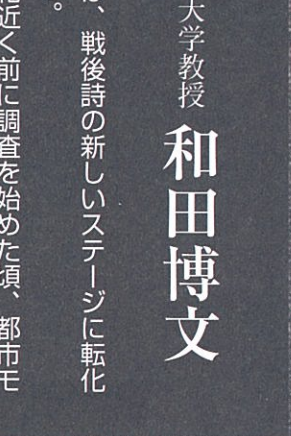
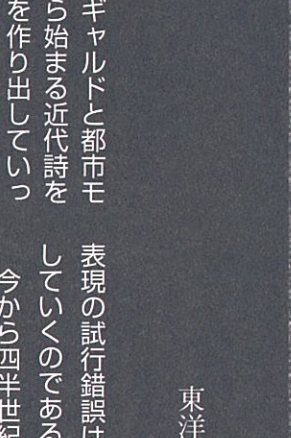
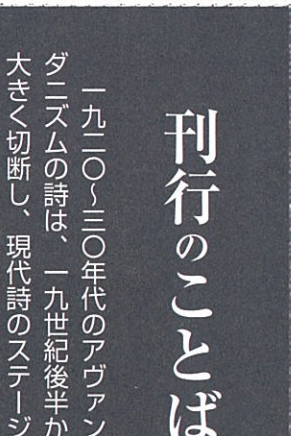
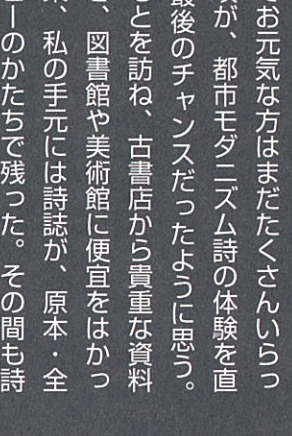
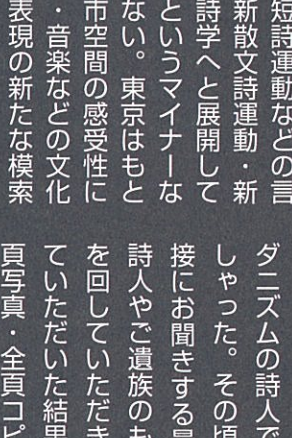
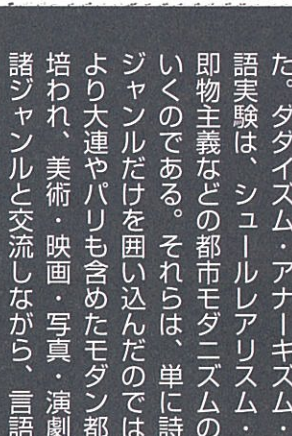
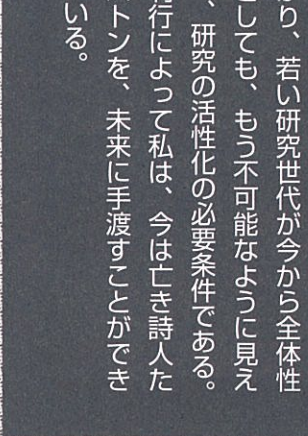
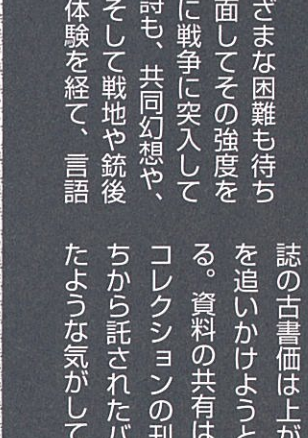
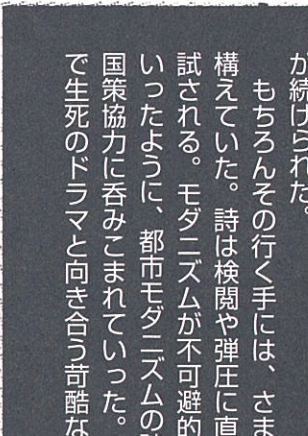
◆『VOUC』21号~30号(一九二八・一~一九二九・一〇)

◆『新技術』31号~37号(一九二九・三~一九二九・九)\*『VOUC』号数を継承

◎エッセイ「VOUCと十五年戦争」

◆関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧 ◇主要参考文献





## 刊行のことば

東洋大学教授 和田博文

一九二〇〜三〇年代のアヴァンギャルドと都市モダニズムの詩は、一九世紀後半から始まる近代詩を大きく切断し、現代詩のステージを作り出していった。ダダイズム・アナーキズム・短詩運動などの言語実験は、シュールレアリスム・新散文詩運動・新即物主義などの都市モダニズムの詩学へと展開していくのである。それらは、単に詩というマイナーなジャンルだけを囲い込んだのではない。東京はもとより大連やパリも含めたモダン都市空間の感受性に培われ、美術・映画・写真・演劇・音楽などの文化諸ジャンルと交流しながら、言語表現の新たな模索が続けられた。

もちろんその行く手には、さまざまな困難も待ち構えていた。詩は検閲や弾圧に直面してその強度を試される。モダニズムが不可避的に戦争に突入していったように、都市モダニズムの詩も、共同幻想や、国策協力に呑みこまれていった。そして戦地や戦後で生死のドラマと向き合う苛酷な体験を経て、言語

表現の試行錯誤は、戦後詩の新しいステージに転化していくのである。

今から四半世紀近く前に調査を始めた頃、都市モダニズムの詩人でお元氣な方はまだたくさんいらっしゃった。その頃が、都市モダニズム詩の体験を直接にお聞きする最後のチャンスだったように思う。詩人やご遺族のもとを訪ね、古書店から貴重な資料を回していただき、図書館や美術館に便宜をはかっていたいただいた結果、私の手元には詩誌が、原本・全頁写真・全頁コピーのかたちで残った。その間も詩誌の古書価格は上がり、若い研究世代が今から全体性を追いかけてくようとしても、もう不可能なように見える。資料の共有は、研究の活性化の必要条件である。コレクションの刊行によって私は、今は亡き詩人たちから託されたバトンを、未来に手渡すことができたとような気がしている。

# 『コレクション・都市モダニズム詩誌』(全15巻)刊行予定変更のご案内

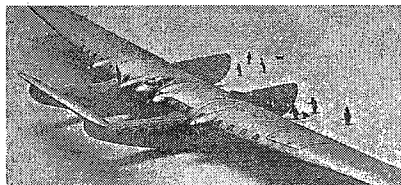
平素は小社刊行物に格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、大変恐縮に存じますが、下記の通り刊行の予定が変更になりました。

深くお詫びを申し上げますとともに、謹んでご案内を申し上げます。

なお、ご不明の点がございましたら、小社営業部までお問い合わせの程お願い申し上げます。

## コレクション・和田博文監修 全15巻 都市モダニズム詩誌



●全15巻揃定価393,750円(375,000円) ISBN978-4-8433-2877-4 C3392 A5判/上製

★第1回・全3巻 既刊・2009年5月刊 ■揃定価78,750円(本体7,5000円/各本体25,000円)  
ISBN978-4-8433-2878-1 C3392

- 第1巻 短詩運動 小泉京美編 ISBN978-4-8433-2883-5
- 第2巻 アナーキズム 竹内栄美子編 ISBN978-4-8433-2884-2
- 第3巻 シュールレアリスム 鶴岡善久編 ISBN978-4-8433-2885-9

★第2回・全3巻 既刊・2010年3月刊 ■揃定価78,750円(本体7,5000円/各本体25,000円)  
ISBN978-4-8433-3341-9 C3392

- 第4巻 ダダイズム 佐藤健一編 ISBN978-4-8433-2886-6
- 第6巻 新即物主義 和田博文編 ISBN978-4-8433-2888-0
- 第7巻 主知的抒情詩の系譜 I 大塚常樹編 ISBN978-4-8433-2889-7

★第3回・全3巻 既刊・2010年8月刊 ■揃定価78,750円(本体7,5000円/各本体25,000円)  
ISBN978-4-8433-3372-3 C3392

- 第8巻 主知的抒情詩の系譜 II・昭和の象徴主義 I 國生雅子編 ISBN978-4-8433-2890-3
- 第9巻 昭和の象徴主義 II 木股知史編 ISBN978-4-8433-2891-0
- 第10巻 レスプリ・ヌーボーの展開 杉浦 静編 ISBN978-4-8433-2892-7

★第4回・全3巻 既刊・2010年11月刊 ■揃定価78,750円(本体7,5000円/各本体25,000円)  
ISBN978-4-8433-3373-0 C3392

- 第11巻 都市モダニズム詩の大河 I 勝原晴希編 ISBN978-4-8433-2893-4
- 第12巻 都市モダニズム詩の大河 II 阿毛久芳編 ISBN978-4-8433-2894-1
- 第13巻 アルクイユクラブの構想 宮崎真素美編 ISBN978-4-8433-2895-8

★第5回・全3巻 2011年4月刊行予定 ■揃定価78,750円(本体7,5000円/各本体25,000円)  
ISBN978-4-8433-3374-7 C3392

- 第5巻 新散文詩運動 藤本寿彦編 ISBN978-4-8433-2887-3
- 第14巻 VOYクラブの実験 西村将洋編 ISBN978-4-8433-2896-5
- 第15巻 VOYクラブと十五年戦争 澤 正宏編 ISBN978-4-8433-2897-2

(お問い合わせ先) 株式会社 ゆまに書房

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6

E-mail: eigyou@yumani.co.jp <http://www.yumani.co.jp/>

TEL.03 (5296) 0491 FAX.03 (5296) 0493